

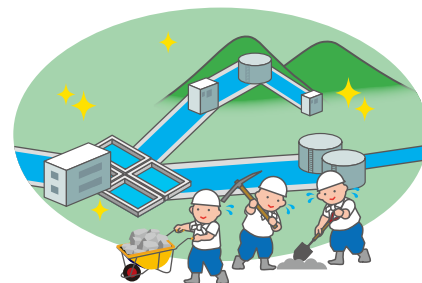
特集 みんなで支える水道と下水道

これからの水道料金・下水道使用料はどう変わっていくの？

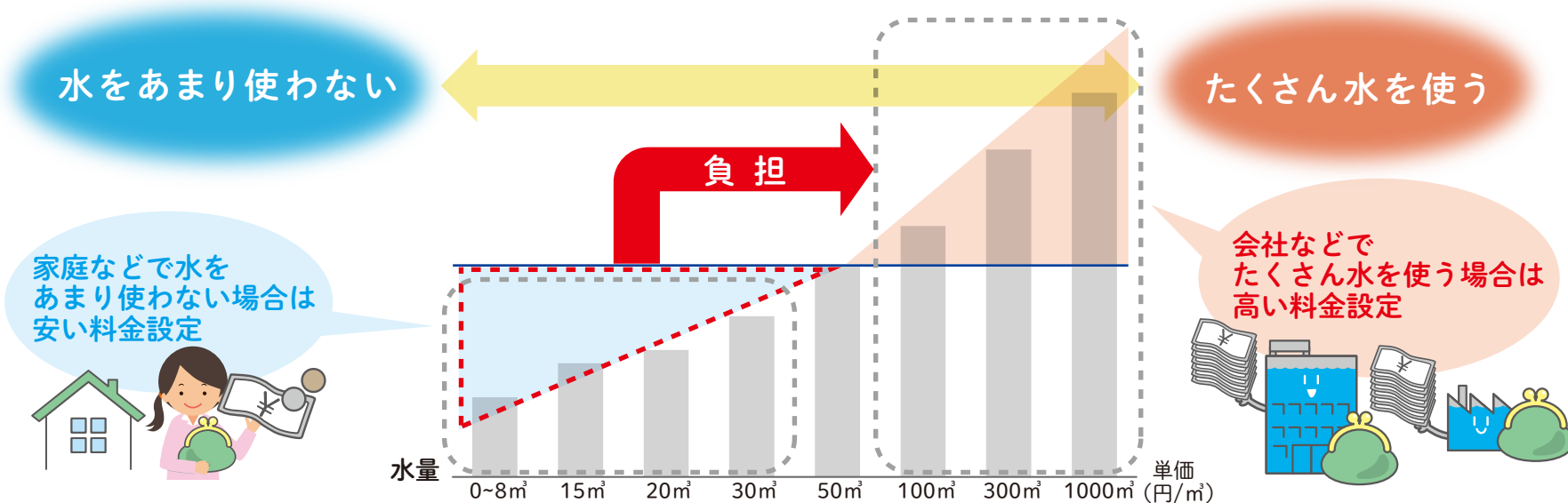
水の使われ方が変わってくると、それに合わせて水道料金と下水道使用料も変えないと、将来必要なお金が足りなくなるかもしれない…そんなことってあるのでしょうか。現在、専門家と市民などで構成する会議に意見を求め、検討していただいているその内容を簡単にご紹介します。

これまで

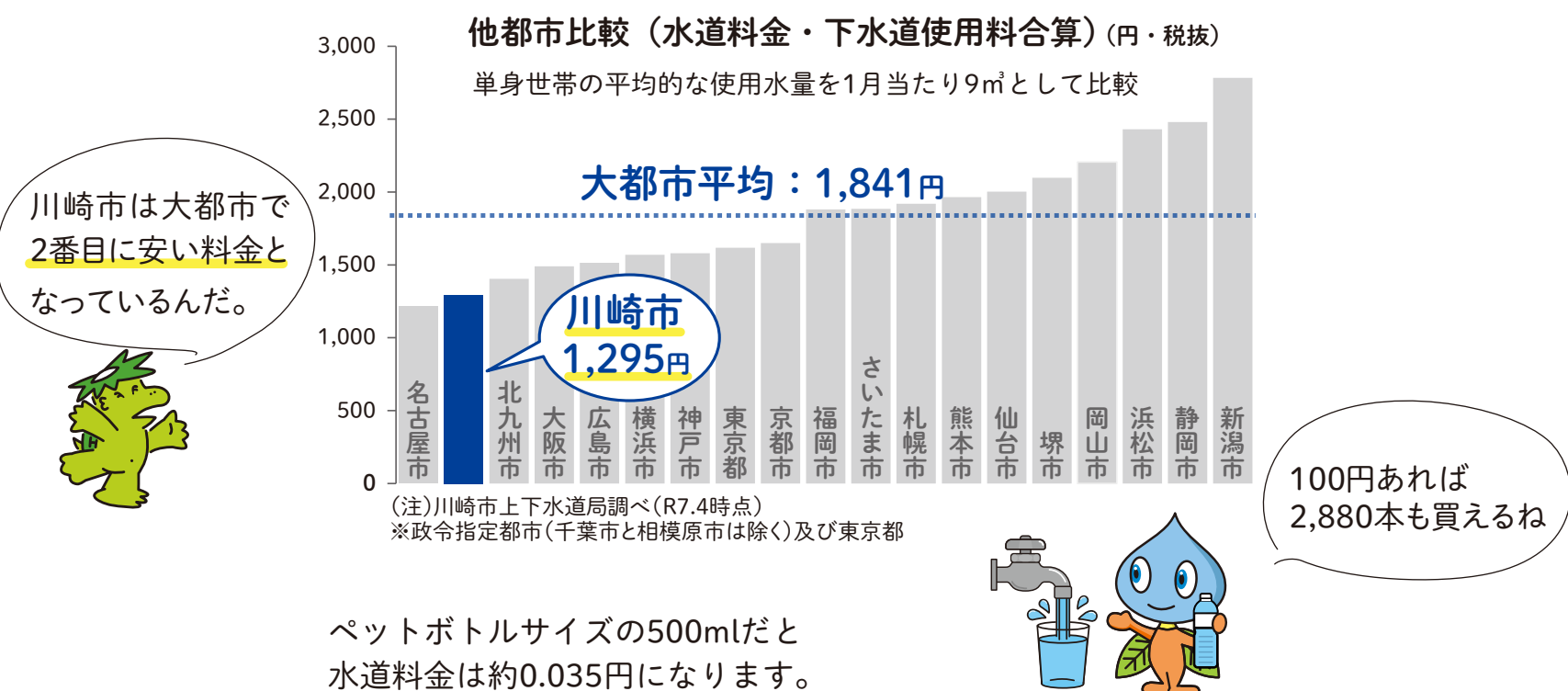
高度経済成長期に、たくさん水を使う大きな会社や施設などが増えたことにより、たくさんのお金を使い、水道管・下水道管や浄水場・処理場などの施設を造る必要がありました。そこで、大きな会社や施設などには、使う水の量を抑えてもらいながら、高い料金を支払ってもらう一方で、家庭などで少なく水を使う人には、安い料金で水を使ってもらえるようにしました。



水量が増えると単価が増加する料金体系のイメージ



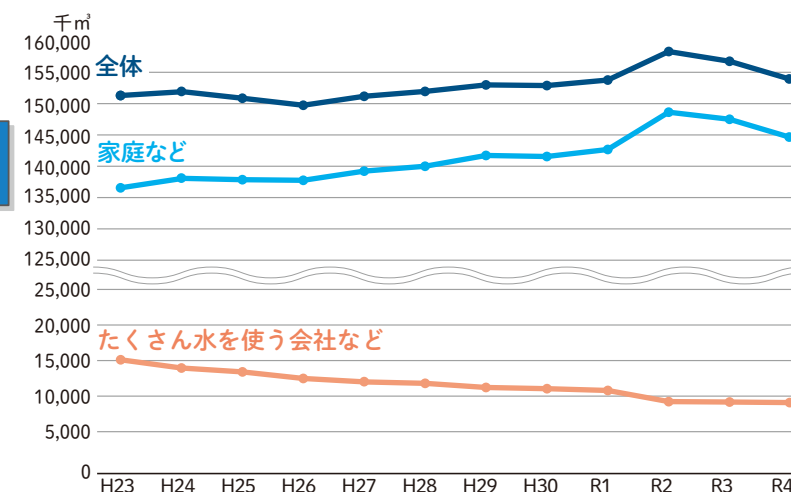
リーズナブルな川崎市の水道料金・下水道使用料



そして

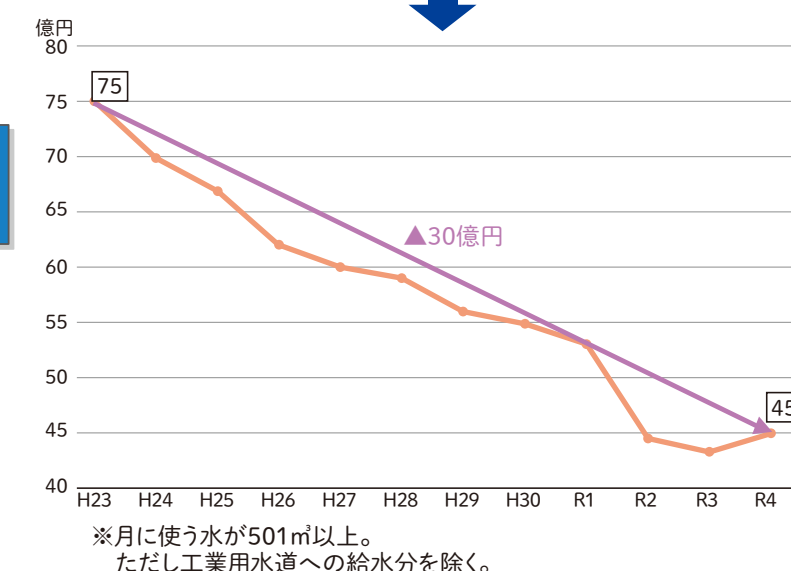
高度経済成長期が終わり、会社や施設の数はいくつか減り、また、節水が進んだため、会社などから支払われる料金が減ってきています。大きな地震や大雨による被害は頻繁に起こっているため、しっかりとした対応が必要になります。こうした災害に備えるとともに、古くなった水道管・下水道管や浄水場・処理場などの施設を新しくする取組もしっかり進めていかなくてはなりません。

使う水の量の推移

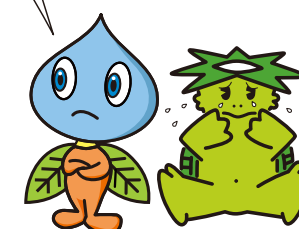


家庭などで使う水は増加傾向ですが、会社などは減少傾向です。

たくさん水を使う会社などからの収入の推移

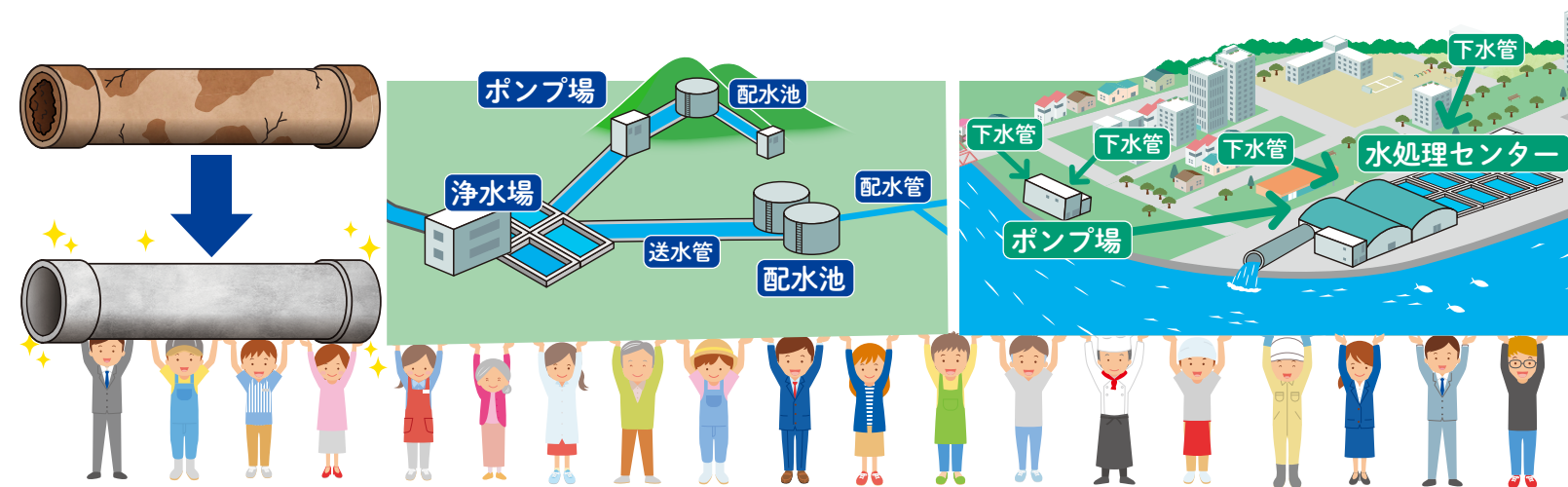


たくさん水を使う会社などからの収入が減っているんだね。



これから

今後も安定給水・排水と市民生活の安全・安心を守る事業を推進するために、水道料金や下水道使用料のあり方について検討していただいております。この度、その「中間報告」が出されました。その中では、料金制度の見直しについて、これからの川崎市の水道や下水道は、状況の変化への対策を踏まえ、多くの水を使う会社や施設も家庭で水を使う人も「うまく、みんなで支える仕組みが必要」と言われています。



有識者等会議からの「中間報告」の内容については、こちらからご覧ください。なお、今年度中には、その最終的なご意見をとりまとめた「答申」をいただく予定です。

